

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成28年8月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第54期第1四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社銀座ルノール |
| 【英訳名】 | GINZA RENOIR CO.,LTD |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 小宮山 誠 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中野区中央4丁目60番3号 |
| 【電話番号】 | 03(5342)0881(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 遠藤 芳子 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中野区中央4丁目60番3号 |
| 【電話番号】 | 03(5342)0881(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 遠藤 芳子 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第53期 第1四半期連結 累計期間 | 第54期 第1四半期連結 累計期間 | 第53期 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年 4月1日 至平成27年 6月30日 | 自平成28年 4月1日 至平成28年 6月30日 | 自平成27年 4月1日 至平成28年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 1,902 | 1,917 | 7,601 |
| 経常利益 (百万円) | 111 | 124 | 368 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 63 | 65 | 285 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 72 | 62 | 272 |
| 純資産額 (百万円) | 5,349 | 5,473 | 5,482 |
| 総資産額 (百万円) | 6,423 | 6,605 | 6,674 |
| 1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円) | 10.53 | 10.83 | 47.08 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円) | 10.34 | 10.79 | 46.50 |
| 自己資本比率 (%) | 82.7 | 82.3 | 81.6 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善はみられたものの、年初から続く円高傾向には歯止めがかからず企業業績の改善は鈍化し、景気は横ばいの状況が続きました。

また、アジア新興国等の経済減速や英国の国民投票におけるEU離脱の選択等、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、原材料価格の高騰や人件費の上昇に加え、出店立地の選択において、競合各社による競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況の中、当社グループは平成28年6月新宿南口甲州街道店を新規オープンし、ニューヨークズ・カフェ高田馬場1丁目店を改装オープンいたしました。

店舗数につきましては、平成28年5月BLENZCOFFEE田町三田口店を閉店いたしましたので、120店舗（内3店舗はFC）となりました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,917百万円(前年同期比15百万円増)、営業利益は114百万円(前年同期比14百万円増)、経常利益は124百万円(前年同期比13百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円(前年同期比2百万円増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、6,605百万円となり前連結会計年度末に比べ68百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が34百万円、投資その他の資産が17百万円増加したものの、現金及び預金が134百万円減少したこと等によるものであります。

負債は1,132百万円となり前連結会計年度末に比べ59百万円の減少となりました。これは主に、その他流動負債が111百万円増加したものの、未払法人税等が66百万円、賞与引当金が64百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は5,473百万円となり前連結会計年度末に比べ9百万円の減少となりました。これは主に、資本剰余金が5百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は82.3%(前連結会計年度末は81.6%)となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 20,000,000 |
| 計 | 20,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成28年8月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 6,252,004 | 6,252,004 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 6,252,004 | 6,252,004 | - | - |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成28年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|------------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成28年4月1日 ~ 平成28年6月30日 | - | 6,252,004 | - | 771,682 | - | 1,062,078 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成28年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 183,500 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,067,900 | 60,679 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 604 | - | - |
| 発行済株式総数 | 6,252,004 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 60,679 | - |

(注)「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式26株が含まれております。

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%) |
|------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| (株)銀座ルノール | 東京都中野区中央 4丁目60番3号 | 183,500 | - | 183,500 | 2.9 |
| 計 | - | 183,500 | - | 183,500 | 2.9 |

(注)当第1四半期会計期間末の自己株式数は、183,526株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,133,507 | 1,999,315 |
| 売掛金 | 21,947 | 20,739 |
| 有価証券 | 12,054 | - |
| 商品 | 29,041 | 33,449 |
| 繰延税金資産 | 70,050 | 70,050 |
| その他 | 172,209 | 191,104 |
| 流動資産合計 | 2,438,811 | 2,314,658 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 3,609,940 | 3,667,711 |
| 減価償却累計額 | 2,473,908 | 2,491,479 |
| 建物(純額) | 1,136,031 | 1,176,232 |
| 工具、器具及び備品 | 384,216 | 380,099 |
| 減価償却累計額 | 306,873 | 296,643 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 77,342 | 83,455 |
| 土地 | 518,173 | 518,173 |
| リース資産 | 235,272 | 235,272 |
| 減価償却累計額 | 96,830 | 108,593 |
| リース資産(純額) | 138,442 | 126,678 |
| その他 | 2,454 | 2,454 |
| 減価償却累計額 | 1,894 | 1,964 |
| その他(純額) | 559 | 489 |
| 有形固定資産合計 | 1,870,549 | 1,905,029 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 1,040 | 520 |
| ソフトウェア | 12,765 | 17,087 |
| 無形固定資産合計 | 13,806 | 17,607 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 52,634 | 47,813 |
| 長期貸付金 | 81,076 | 80,058 |
| 敷金及び保証金 | 1,880,425 | 1,903,520 |
| 長期預金 | 100,000 | 100,000 |
| 繰延税金資産 | 91,624 | 92,359 |
| その他 | 145,738 | 144,769 |
| 投資その他の資産合計 | 2,351,499 | 2,368,522 |
| 固定資産合計 | 4,235,855 | 4,291,160 |
| 資産合計 | 6,674,666 | 6,605,819 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 93,940 | 91,142 |
| 短期借入金 | 80,000 | 80,000 |
| リース債務 | 49,418 | 49,435 |
| 未払法人税等 | 139,449 | 73,079 |
| 賞与引当金 | 94,040 | 29,800 |
| 株主優待引当金 | 18,690 | 13,200 |
| その他 | 333,585 | 444,694 |
| 流動負債合計 | 809,125 | 781,351 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 96,312 | 83,946 |
| 役員退職慰労引当金 | 121,959 | 105,374 |
| 退職給付に係る負債 | 128,534 | 125,575 |
| その他 | 36,239 | 36,239 |
| 固定負債合計 | 383,045 | 351,136 |
| 負債合計 | 1,192,171 | 1,132,488 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 771,682 | 771,682 |
| 資本剰余金 | 1,067,453 | 1,062,078 |
| 利益剰余金 | 3,748,660 | 3,734,576 |
| 自己株式 | 157,538 | 142,057 |
| 株主資本合計 | 5,430,257 | 5,426,279 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,960 | 10,822 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,960 | 10,822 |
| 非支配株主持分 | 37,277 | 36,229 |
| 純資産合計 | 5,482,494 | 5,473,331 |
| 負債純資産合計 | 6,674,666 | 6,605,819 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 1,902,452 | 1,917,882 |
| 売上原価 | 246,557 | 241,984 |
| 売上総利益 | 1,655,895 | 1,675,898 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,555,462 | 1,561,146 |
| 営業利益 | 100,432 | 114,751 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 873 | 467 |
| 受取配当金 | 898 | 901 |
| 受取家賃 | 7,092 | 7,011 |
| 投資有価証券償還益 | 5,330 | - |
| その他 | 3,399 | 3,595 |
| 営業外収益合計 | 17,593 | 11,975 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 145 | 180 |
| 不動産賃貸費用 | 1,129 | 1,048 |
| 撤去費用 | 1,599 | 35 |
| 賃貸借契約解約損 | 3,000 | - |
| その他 | 1,028 | 1,295 |
| 営業外費用合計 | 6,902 | 2,560 |
| 経常利益 | 111,123 | 124,166 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 455 | 475 |
| 特別損失合計 | 455 | 475 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 110,668 | 123,690 |
| 法人税等 | 46,596 | 56,625 |
| 四半期純利益 | 64,071 | 67,064 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 392 | 1,352 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 63,679 | 65,712 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 64,071 | 67,064 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,272 | 4,138 |
| その他の包括利益合計 | 8,272 | 4,138 |
| 四半期包括利益 | 72,344 | 62,926 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 71,952 | 61,574 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 392 | 1,352 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益における影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 68,508千円 | 66,182千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 60,484 | 10 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 78,630 | 13 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 10円53銭 | 10円83銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 63,679 | 65,712 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 63,679 | 65,712 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,048,478 | 6,067,599 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 10円34銭 | 10円79銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 107,354 | 23,721 |
| (うち新株予約権(株)) | (107,354) | (23,721) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月12日

株式会社銀座ルノアール

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 聡 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北本 佳永子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座ルノアールの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座ルノアール及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。